

山行NO NO. 1804
日時 2018. 10. 03 (晴れ・午後小雨)
山域 瑞牆山(2230m)カンマンボロ・コース
コース 起床4:45-みずがき山自然公園発6:35-カンマンボロ・コース-カンマンボロ7:14-一般道8:33-瑞牆山9:05~45-不動滝10:42-屏風岩11:14-林道間違えて引き返す11:40-みずがき山公園12:16
標高差 上り みずがき山公園約1470m~瑞牆山2230m=約760m
下り
参加者 GT、KH、MM、HT、GM、TY (新入会員)

カンマンボロに会いに

カンマンボロンとは、奇妙な呼称だ。梵字(サンスクリット語)で、大日如来・不動明王の意味らしい。Hpでは、地元の増富小学校ホームページに下記のような記事があります。

『瑞牆山中の岩峰の中に、洞ヶ岩という洞窟のある岩峰があります。この洞窟は奥行約5メートル・幅15メートル・高さ40メートルの大きい洞窟です。その奥に約7メートルの花崗岩の岩盤があり、これに梵字が刻まれています。字は『カンマンボロン』と読むといわれている。それは大日如来・不動明王の意であるといわれています。昔、弘法大師が霊場選定のために来て、この山の姿を愛しここを霊場とし梵字を刻まれました。しかし霊場とするには、八百八谷を要したが増富の地では、谷数が不足するためこの地を去っていきました。今も山中に大日岩があり、その背後に不動明王をお祭りしています。』

前夜は、みずがき山自然公園でテント泊。広々とした公園。五月蠅い管理人はいない。トイレはキレイで最高。いう事なし。夕食を済まし、イッパイやって、新入会員のT君を待った。

今回の山行は、当初、稲子湯から天狗岳東面の予定だった。しかし先日、会員のTYさんの紹介で御殿場のT君(25歳)が入会した。T君はサービス業で平日休日が多く登山も平日が中心。今週の休暇を聞いたら、稲子日程と1日しか変わらなかったのが急遽、1日日程をズラし、1日目は天狗岳・西尾根、2日目は、瑞牆山・カンマンボロンコースにしT君の歓迎山行とした。天狗岳下山が遅くなり、夕食を済ませたのが19:30。やがてT君が駆け付けた。T君は勿論、初対面。お酒を飲める方なので軽く交流。1時間ほどやって20時休んだ。



テントを畳む

翌朝、心配だった雨はなく、高曇りでまあまあの天気だった。
朝食を済ませ、新人にテントを畳んで貰い出発。
公園から周遊道を下り、看板が倒れている所から山に入る。グングン上る。
最初から物凄い上りが続く。台風の影響で落葉と倒木が多い。



カンマンボロン

カンマンボロンの場所が良く分からなかった。
通り過ぎてしまったが、後続の女子が大騒ぎして、心配で戻ったら
そこがカンマンボロンだった。
岩戸を潜って向こう側を覗いたらあった。しかし、前述のように大きな洞窟の壁に
刻まれたものではなかった。
一見、風化した岩の穴のような感じだが、これを本当に弘法大師が刻んだのだろうか。
大昔、こんな所まで弘法大師が上って来たとは、ちょっと考え難い。
因みに、サンスクリット語で大日如来は、下記のように書く。

महावैरोचन

マハーヴァイローチャナ

弘法大師の伝説・伝承は日本中に数多くある。その一つとして覚えておこう。

再び上り出す。頂上まで標高差はさほどないが、兎に角、急な上り。

気温が高く大汗が流れる。

程なく、一般道に出た。公園から約2時間だった。何処かのオジサンが下からやって来た。

女子を待たせたが先に行ってくれで、寒いので再登。

頂上には簡単に着いた。先ほどまでガスがあったが、丁度なくなり金峰山などが見えた。

先ほどのオジサンに写真を頼んだ。女子もやって来て空腹を満たす。



瑞牆山



新しい会員のT君



幻想的だった

雨がパラパラ。予定より早い。不動滝経由で下山。
比較的歩き易い道が続く。不動滝に夫婦がいた。聞けば、先週は不動沢が大水で渡れなかったという。



不動滝

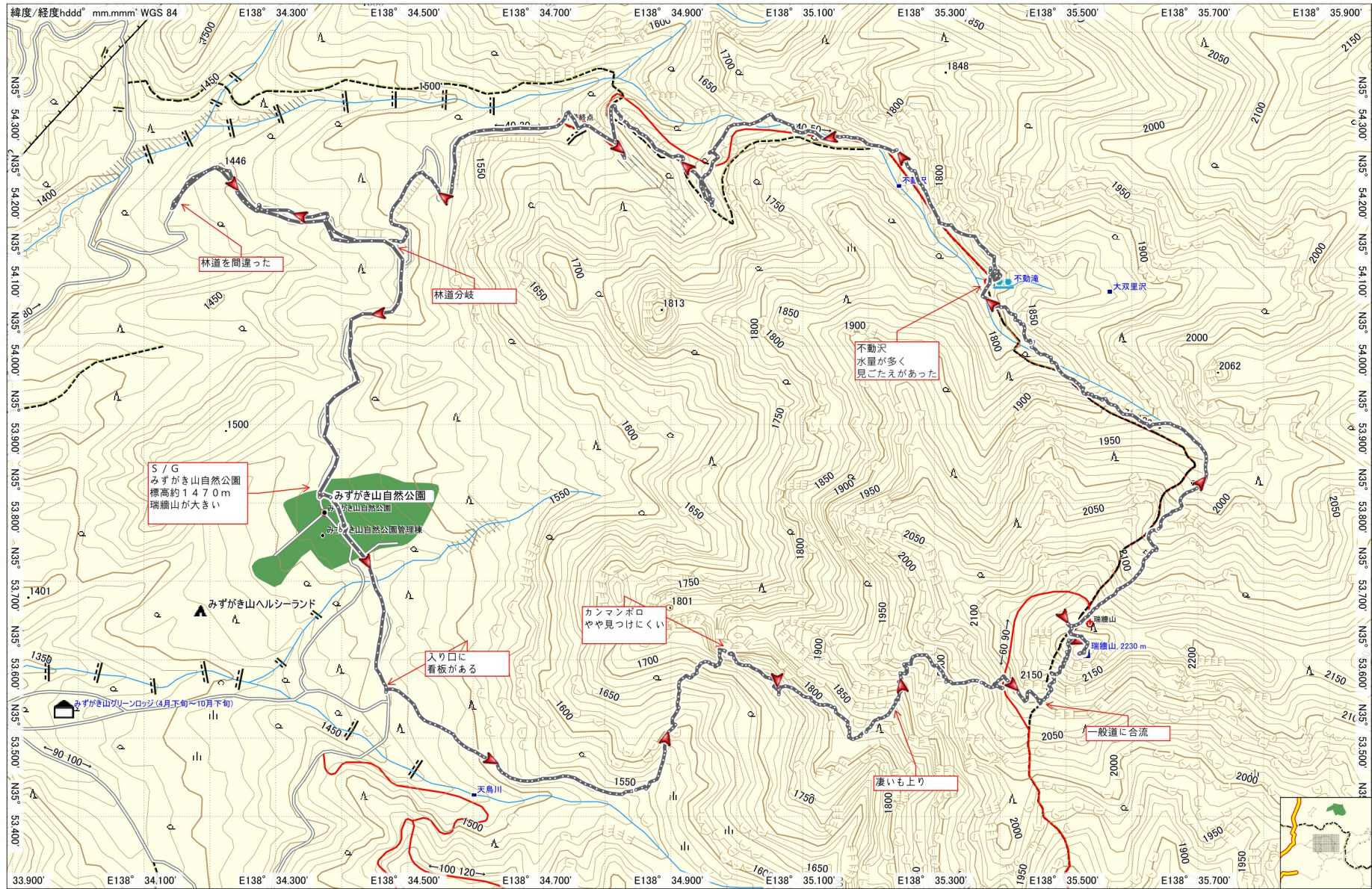
滝はこのところの大雨で立派な流れだった。近くに、鼻猪口（ジゴボウ）が沢山あったが、既に大きく開き旬は過ぎていた。
再び不動沢を渡り右岸を下る。途中に屏風岩がある。数人のクライマーが練習中だった。

林道を下る。長い林道が嫌で時々、ショートカットをする。ここに落とし穴があった。
調子に乗ってバンバンカットしたら、地図の林道分岐を見落とし、逆方向の林道を下っていた。
GPSで確認したら、確かに間違っていた。
ただ、女子はズンズン下ってしまい、結局、黒森上くらいまで下ってしまった。

男子3名は公園に戻り、車で女子を探しに行った。が、見つからない。
地元のオジサンに頼んで軽トラで公園まで運んで貰ったようだ。ひと騒がせな顛末だった。
雨が降って来た。予報通り、午後から雨だった。増富温泉で汗を流し帰静した。T君には喜んで貰ったようだ。合流して良かった。



キノコ兄弟



Japan Topo 10M Plus V3
Copyright © 1995-2014
Garmin Corporation

2018/10/05 6:34:32

GARMIN

2018/10/05